

九月一日 防災の日

「警戒宣言」に備えて

市内六カ所で汗だくの訓練

テレビ、新聞等で大地震到来が予想されていたなか、九月十四日、長野県西部を震源とする強い地震が発生し、長野県木曾郡王滝村では、大きな被害を受け、また多くの犠牲者が出ており、防災についての関心が非常に高まっております。

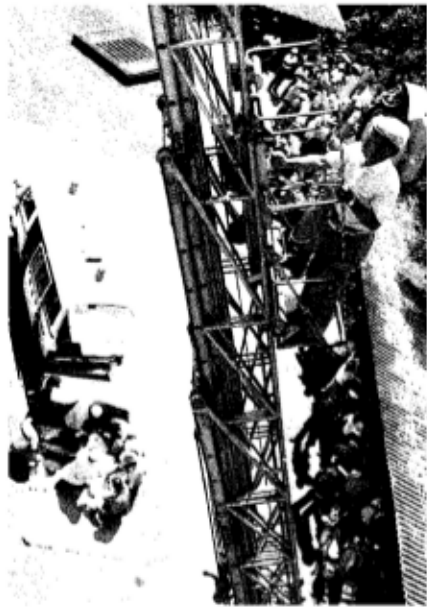
市では九月一日「防災の日」に東海沖地震を想定し、地震予知から災害発生までの実践

的な総合防災訓練を実施しました。

市内六会場で自主防災会を中心に、市民一万九千人の参加のもとに、警戒宣言の住民への伝達、住民等の事前避難児童生徒等の退避、炊き出し負傷者等の救護、給水、初期消火、防疫、消火、公共施設復旧訓練が行われました。

この訓練は、災害に見舞われたとき、防災に関する機

▼救助・救出訓練 (谷村会場)



▲住民の避難訓練 (宝会場)

がお互いに緊密な連絡をとりあって、すみやかに的確な応急措置がとれる体制をつくるための訓練です。

この機会に、市民の防災に対する意識を高めていただくと共に、災害から自らを守るためにも、地域で、職場で、学校で、また家庭でも訓練をしていただき、地震等の災害から尊い生命、財産を守ることを心がけるようお願いいたします。

自主防災会が活躍

▼給水訓練 (禾生会場)



▼児童の避難訓練 (開地会場)



▼初期消火訓練 (東桂会場)

